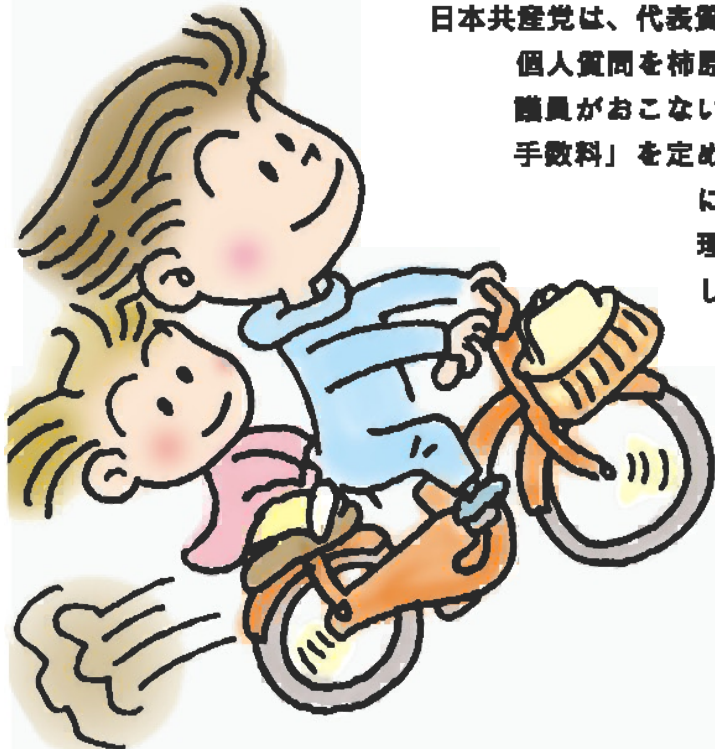


## 福祉、くらし、営業まもることを最優先にした市政を求める

### 日本共産党

春の市長・市議選後はじめての定例市議会(7月22日～8月11日)は、小・中学校天井高の設置、介護相談員の派遣、放置自転車への対策など、市民や日本共産党も求めてきた施策の予算などを承認しました。

日本共産党は、代表質問を松本洋一郎議員、個人質問を柿原まき、塩見みゆき、竹村博之各議員がおこない、「住民基本台帳カード交付手数料」を定める条例については住基ネットによる個人情報漏えいの危険を理由に反対、他の議案には賛成しました。



### 代表質問では

**1** **国** の4兆円負担増や「不良債権処理」加速の悪政から、市民の福祉、くらし、営業を守ることを市政の最優先にすべきであって、7億円もかけて整備の終わった片山公園をこんどは「城山公園」にするなど、市民が願ってもいない「ついで」税金を使うべきでない。

**2** **財** 政健全化では、市民や市職員に犠牲を押し付けるのではなく、緊急性のないものを後回しにするなど見直しをすべきだ。

**3** **高** すぎる国民健康保険料の引き下げを要求。市の仕事の中小企業への発注をふやし、「産業振興条例」の制定を。

**4** **梅** 田貨物駅の吹田への移転計画については、当面の準備手続きを凍結し、「住民投票」を実施すべきだ。

**5** **学** 校での30人学級に踏み切ること。

### 個人質問では

**1** **江** 坂地域に公共施設の建設を。学校図書館の充実を。

**2** **学** 重保育の充実。市民病院小児救急の存続を。岸部・南上・千里丘のまちづくり。

**3** **千** 里ニュータウンの再生は100人委員会など住民の声を反映すること。若者のスケボーのできる場所の確保を。

## 「府の医療費助成制度まもれ」の意見書など可決

吹田社会保障推進協議会が要望していた「大阪府各種(老人・障害者・母子家庭・乳幼児)医療費助成制度の存続を求める意見書」は、全会派共同提案で可決しました。

全教吹田と新婦人吹田支部が要請していた「教育基本法改悪反対」の意見書は、「教育基本法の拙速な見直しではなく、国民的議論の展

開を含めた慎重な対応をするよう強く要望する」との内容で1本化し、全会派共同提案で可決しました。

吹田さんくす名店会商業協同組合など12団体が要望していた「麻民生活を脅かす増税計画の中止を求める意見書」は、日本共産党が提案しましたが、他のすべての議員が反対し否決してしまいました。